



3学期(0学期)がスタートしました

1月9日、51日(登校日、6年生は49日)の3学期がスタートしました。始業式で、子どもたちにこのような話をしました。

2学期の終業式の時に、「3学期は、0学期」と話したことを憶えていますか？

今の学年の3学期という意味と、次の学年の0学期という意味があるということです。

まずは、今の学年で身に付けることをがんばってください。

3学期の学習についても、分からないことがあっても、あきらめず、ねばり強く取り組んでください。先生たちも相談してください。皆さんを応援しています。

次に、今年度できるようになってきていることを続けてください。勉強の面・生活の面でいろいろと力をつけてきました。すばらしいことです。全校で取り組んでいることとして、「はきものそろえ」「そうじ」がとてもよくなってきました。2学期の終業式のそうじチェックでも多くの人の手が上がるようになりました。特に6年生はほとんどの人でした。卒業までにぜひ引き継いでください。みなさんで旭小の良き伝統としましょう。

そして、0学期として、次の学年を意識して過ごしてください。次の学年に向けて、どんなことをがんばろうか考えてみてください。「今できていないから、次の学年までに頑張ろう」でもよいですし、「今できていること・できるようになってきていることを続けていこう・もっとやってみよう」でもよいです。考えてみてください。

3学期に、全校のみなさんで取り組んでほしいことを話します。「あいさつ」です。

「あいさつ」は、人と人がつながるきっかけ作りです。もし、あいさつしても、黙って通り過ぎられてしまったらどんな気がしますか？

ここで、あいさつについて、何パターンか実際にやってみたいと思います。

- ① 出会った時のあいさつ。相手を見てあいさつをしてすれ違う。
- ② 出会った時のあいさつ。相手を見て会釈をする。
- ③ あいさつがなかったら、どんな感じになるかやってみましょう。顔は下げない。
- ④ このまま終わると、暗い感じになるので、最後のもう一度最初のあいさつ。

気持ちのよいあいさつになるように、出会った人には、その人の目を見て自分からあいさつしてみてください。「先手あいさつ」と言います。また、あいさつされたら、「あいさつを返す」ことをやってみてください。みんなで取り組んでみましょう。

あいさつについて、4パターンをやってみました。①②④は、笑顔でしていましたが、③の「あいさつをせずにすれちがう」では、変な気持ちになったようです。「③だけ、時間が長く感じましたか？」と聞くと、ほとんどの子どもが手を上げました。「相手を見てあいさつする」ことを3学期は取り組んでいこうと思います。「大きな声で元気よく」は、苦手な子どももいるかもしれません。まずは、「相手を見てあいさつする」ことに小さい声でも、会釈でもよいので、意識してほしいと思っています。ご家庭でも地域でも、あいさつを交わすこと、引き続きよろしく願いいたします。



学校の様子



5年 お礼の会

12月20日、5年生が、今年お米の学習でお世話になった地域の方をお招きし、お礼の会を開きました。まずは、収穫したお米でおにぎりを作り、米粉にしたもので団子を一緒に作り、おいしくいただきました。会食の途中、お米の種類やその種類によって味や食感が異なるなどのお話を聞きました。会食の後は、「モルック」というニュースポーツで交流しました。終わりの会では、子どもたちから感謝の気持ちを伝えるお手紙と、お米、藁で作ったほうきをお渡ししました。大変お世話になりました。



3年 フータン王国の研修生

と交流 1月17日、フータンの方が来られ、3年生の授業を見学され、その後交流をしました。フータンのお話を聞き、伝統衣装も着させていただきました。



3年 駐在所の方にインタビュー

1月18日、今市駐在所の青木さんにお越しいただき、どんなお仕事をされているのなど、インタビューをしました。とても分かりやすくお話しいただきました。



お知らせ【“大谷グローブ”が届く】

「全国のすべての小学校に“大谷グローブ”が届く」というニュースが流れ数か月がたち、ついに旭小学校にも届きました。

届いた箱の中には、大谷さんからのお手紙と、グローブが3個入っていました。

1月19日の朝の全校集会「アピールタイム」の終わりに、全校の子どもたちに紹介しました。ほとんどの子どもたちは、届くというニュースを知っていたようで、喜びの顔でグローブに見入っていました。

その後、教室に帰って、6年生から順に触ったり、手にはめてみたりしました。

大谷さんからの手紙の最後に、「野球しようぜ。」と書かれていました。

これから、このグローブを使ってキャッチボールできることを楽しみにしているところです。

大谷さん、子ども達に夢をありがとう。

